

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る

## 重要情報シート（個別商品編）

### 1.商品等の内容（当社は、お客様に上場有価証券の売買の取次ぎを行っています）

金融商品の名称・種類	NEXT FUNDS 日経平均レバレッジ・インデックス連動型上場投信（1570）
組成会社（運用会社）	野村アセットマネジメント株式会社
金融商品の目的・機能	ファンドは、日経平均レバレッジ・インデックスを対象指数（以下、「対象指数」といいます。）とし、対象指数に連動する投資成果（基準価額の変動率が対象指数の変動率に一致することをいいます。）を目指します。
対象指標の概要	日経平均レバレッジ・インデックスは、日々の騰落率を日経平均株価（原指標）の騰落率の2倍として計算された指数で、2001年12月28日の指数値を10,000ポイントとして計算されています。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	<p>短期間の取引による売買差益の獲得を目的とし、大きく元本割れするリスクを許容することができ、さらに、以下についてご理解いただける方に適しています。</p> <p>(1) レバレッジ（インバース）倍率に比した高リスク商品であり、投資経験が少ない投資家向けの商品ではありません。</p> <p>(2) 以下の理由から長期の投資に適しません。</p> <p>① 2営業日以上保有する場合、基準価額の変動率が、対象指標の参照する原指数・原指標の変動率の2倍とは、通常は一致しません。また、原指数・原指標の値動きが上昇・下落を繰り返した場合、マイナスの方向に乖離が生じる可能性が高くなります。</p> <p>② 本商品は、先物取引を用いた運用を行うため、先物取引の次限月以降の限月への乗換え（ロールオーバー）に伴って、対象指標の変動率と基準価額の変動率との間に乖離が発生する可能性があります。</p>
パッケージ化の有無	ありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。
次のようなご質問があればお問い合わせください	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠はなにか。</li> <li>・この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。</li> <li>・この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べてどのようなメリット・デメリットがあるのか。</li> </ul>

### 2.リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

<p>損失が生じるリスクの内容</p> <p>※ 右記に限定されるものではありません。</p>	<p>株価変動リスク：ファンドは株価指数先物取引を積極的に活用しますので、株価変動の影響を受けます。</p>
	<p>債券価格変動リスク：債券（公社債等）は、市場金利や信用度の変動により価格が変動します。ファンドは債券に投資を行いませんので、これらの影響を受けます。</p>
	<p>投資先などの破綻や財務状況の悪化による影響を受けます。</p>
	<p>為替相場の変動による影響を受けます。</p>

	<p>本商品は、対象指標が参照する原指数・原指標の2倍の変動率を日次（1日）で達成するように運用されるため、日次ではなく2営業日以上運用期間を見た場合には、本商品の基準価額の変動率は、対象指標の参照する原指数・原指標の変動率の2倍とは通常は一致しません。また、原指数・原指標の値動きが上昇・下落を繰り返した場合、マイナスの方向に乖離が生じる可能性が高くなります。</p>
	<p>本商品は、先物取引を用いた運用を行うため、先物取引の次限月以降の限月への乗換え（ロールオーバー）に伴って、対象指標の変動率と基準価額の変動率との間に乖離が発生する可能性があります。</p>
	<p>本商品の市場価格は、取引所における競争売買を通じ、需給を反映して決まるため、必ずしも基準価額と一致するものではありません。</p>
〔参考〕 過去1年間の騰落率	43.6%（2023年11月30日）
〔参考〕 過去の騰落率	57.8%（3年） 設定来＝2012年4月10日以降：873.6%
交付目論見書参照箇所（リスクと運用実績）	損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「投資リスク」、運用実績の詳細は交付目論見書の「運用実績」に記載しています。
次のようなご質問があればお問い合わせください	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。</li> <li>・相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。</li> </ul>

### 3.費用（本商品の購入または保有には、費用が発生します）

購入時に支払う費用（販売手数料など）	国内株式等の売買に係る委託手数料がかかります。（上場有価証券等書面に記載しています。）
継続的に支払う費用（信託報酬など）	税込み、年0.88%（2023年8月17日現在）
運用成果に応じた費用（成功報酬など）	ありません。
次のようなご質問があればお問い合わせください	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。</li> <li>・費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。</li> </ul>

### 4.換金の条件（本商品を換金する場合、一定の不利益を被ることがあります）

この商品の償還期限はありません。但し、繰上償還等により上場廃止される場合があります。
この商品を売却する場合には、国内株式等の売買に係る委託手数料がかかります。（上場有価証券等書面に記載しています。）

※ 本商品を換金する場合、一般的には、金融商品取引業者等を通じて、取引所市場で売却することになります。

次のようなご質問があればお問い合わせください	・私がこの商品を換金するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。
------------------------	---

### 5.当社の利益とお客様の利益が反する可能性

当社は、この商品の組成会社等と資本関係等の特別の関係はありません。
当社の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるような場合はありません。

※利益相反の内容とその対処方針については、「利益相反管理方針」をご参照ください。

<http://www.banyo-sec.co.jp/pdf/riekisouhan.pdf>

次のような  
ご質問があれば  
お問い合わせください

・あなたの会社が高手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

#### 6. 租税の概要（NISA、つみたてNISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

時期	項目	税金
分配時	所得税、復興特別所得税及び地方税	配当所得として課税 収益分配金に対して20.315%
売却時、換金（解約）時 及び償還時	所得税、復興特別所得税及び地方税	譲渡所得として課税 売却時、換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して 20.315%

この商品はNISAの対象商品です。つみたてNISAの対象商品ではありません。iDeCoでのお取り扱いはありません。

#### 7. その他参考情報（契約にあたっては、次の書面をよくご覧ください）

当社の「上場有価証券等書面」 	組成会社が作成した「目論見書」 
--	---

上記「上場有価証券等書面」及び「目論見書」につきましては、ご希望があれば、書面でお渡します。